**第3課　礼拝を受けられる唯一なるお方 2020.2.2**

◎ 賛美: 韓日 9番　　◎使徒信条

◎ アイスブレーク　あなたが持っている物の中で一番大切なものは何ですか？そしてその理由は何ですか？

◎ みことばの中へ

**テーマのみことば**

この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その回りも内側も目で満ちていた。彼らは、昼も夜も絶え間なく叫び続けた。“V”」また、これらの生き物が、永遠に生きておられる、御座に着いている方に、栄光、誉れ、感謝をささげるとき、二十四人の長老は御座に着いている方の御前にひれ伏して、永遠に生きておられる方を拝み、自分の冠を御座の前に投げ出して言った。「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」(ヨハネの黙示録 4章 8∼11節).

**みことばを広げよう**

**礼拝とは?**

礼拝はある対象に最高の価値を付与し、それを崇拝する行為を指します。従って私たちが神様を礼拝すると言うと、神様を最高に尊く考えてあがめるという意味です。礼拝は対象を正しくすることが重要です。出エジプト記20章3節は“あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。”と言っている様に、私たちの礼拝を受けられる方は神様お一方です。

ある人は特定した時間と場所に人々が集まって、定められた形式に従って賛美し、説教を聞き、祈る行為だけを礼拝だと考えたりします。しかしこれは礼拝を小さな意味で理解しています。礼拝は時間と場所、人が多い少ないにこだわったりはしません。イエス・キリストの血潮を頼り、聖霊様の臨在の中で捧げられる礼拝ならば神様は、いつ、どこででも受けられます(ヨハネ4：21-24)。

従って私たちは一人だけの空間ででも、家族たちと共に家ででも、信仰の友たちと共に会社ででも礼拝を捧げることができます。ローマ12章1-2節は私たちが世と区別され聖なる暮らしを生きることまで礼拝であると言います。しかし定められた時間と場所に集まって一つの心で捧げる公的な礼拝を決して疎かにしてはなりません。神様は神様の子供たちが教会の秩序と伝統、連合を大切にすることを願われるからです。

**礼拝を受けられるにふさわしい神様**

一つ目,神様は唯一で聖であられ永遠なるお方であるので私たちの礼拝を受けるにふさわしいお方です。全宇宙万物は不完全で有限です。しかしただ神様だけは聖く永遠です。ヨハネの黙示録4章8節は“聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。神であられる主、万物の支配者、昔いまし、常にいまし、後に来られる方。”と聖く永遠なる神様をあがめる賛美の礼拝を語っています。

二つ目、神様は創造主であられるので私たちの礼拝を受けるにふさわしいお方です。人類を初めとした万物は神様が造られた被造物です。世の何も神様なしに存在することはできません。万物を存在するようにされた神様だけが唯一な礼拝の対象であられます。ヨハネの黙示録4章11節は“「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。”と創造主神様をあがめる賛美の礼拝を語っています。

三つ目、神様は救い主であられるので私たちの礼拝を受けるにふさわしいお方です。神様は罪によって刑罰に置かれるしかない私たちを御子イエス・キリストの犠牲を通して救われました。神様が与えてくださった救いの恵みによって私たちはいのちを得たのです。ヨハネの黙示録5章9節は“あらゆる部族、国語、民族、国民の中から”私たちをキリストの血で買われた神様をあがめる賛美の礼拝を語っています。

Q : 神様が礼拝を受けるにふさわしい理由は何でしょうか?

**礼拝の道を開かれたイエス様、礼拝に働かれる聖霊様**

人が神様を礼拝することのできる理由は、イエス様の愛と犠牲のゆえです。イエス様が人類の全ての罪を背負われ、十字架にかかられ死なれることで神様に進み出ることのできる道が開きました。イエス様を信じる人ならば、誰でも罪の赦しを受け、聖なる神様に大胆に進み出て礼拝することができます(へブル10：19-20)。

従って私たちは礼拝を捧げる度に、血潮を流されたイエス様に賛美と感謝を捧げなければなりません。私たちが礼拝を捧げる時、神様を人格的に体験することのできる理由は聖霊様の働きのゆえです。聖霊様だけが神様が恵みとしてくださったものと、イエス様について分からせてくれるからです(ヨハネ15：26、Ⅰコリント2：12)。また礼拝に聖霊様が働かれると、聖徒が心から悔い改めて聖く変えられ、病の癒し、悪霊からの解放のような奇跡が起こることができます(使徒10：38、ローマ8：1-2)。従って私たちは礼拝を捧げる度に聖霊様が充満に臨まれるように祈らなければなりません。

Q : 私たちは誰によって礼拝を捧げることができ、私たちが捧げる礼拝には誰が共にしなければなりませんか？

**◎ 暮らしの中へ**

1. 公的な礼拝でも、個人的な礼拝でも礼拝を捧げながら神様の恵みを体験したことがあるならば分かち合ってください。

-チョー勧士さんは昔、主日礼拝の時間に説教のみことばを聞きながら、イエス様が自分を罪から救われるために十字架にかかられたという事実に感激して涙を流したことがあります。以前までは教会は通っていましたが、頭でだけイエス様の恵みを理解していましたがその時の体験以降に初めてその恵みを心で受け入れるようになりました。

- チェ執事さんはひどい腰痛によって長い間苦しんでいました。しかしある主日礼拝の時間に牧師先生の癒し宣言に“アーメン”と答えると、腰痛が消え去ったことを感じました。

2.神様は永遠で聖く、創造主であり救い主であられるので私たちの礼拝を受けられなければなりません。私たちはまたこのような神様の普遍的な属性と地位の故にではなく、神様が私たち個人を特別に出会ってくださることによって神様を礼拝しなければなりません。あなたを特別な方法で出会ってくださった神様を話ししてください。

- 15年目、教会学校の教師として仕えているキム執事さんは毎主日、聖なる負担感を抱いて聖書勉強を導きます。キム執事さんは毎集緊張して子供たちに会いますが、その度に神様が共にされ助けられることを感じます。このようにキム執事さんは教会学校の教師という奉仕の場所で共にされ助けられる神様に出会っています。

- 区役所で勤務するソ執事さんは公務員という職業を神様がくださった召命だと考え、最善を尽くして地域の住民のために仕えています。ソ執事さんは国民の願いが無事に処理され住民たちが安堵の表情をする度にやりがいを感じます。このようにソ執事さんは職場で自分を助けられる神様に出会っています。

**◎決断と祈り　　決断の告白**

· 一生の間、ただ神様だけを最高に尊いお方とし、あがめることを決断します。

· いつでも主日を守ることを決断します。

· 世と区別された暮らしを生きることで暮らしの礼拝に最善を尽くします。

**祈り**祈りの課題を分かち合い、今日のみことばを考えながら伝道対象者のために声を出して祈りましょう。

**今日の祈り**

私にとって最高に尊い方は神様です。聖く、永遠であられ、創造主であり救い主であられる神様をあがめます。神様だけが賛美を受けてください。十字架で血を流し死なれることで、救いの道を開かれたイエス様、賛美します。礼拝に臨在し恵みを受けるようにしてくださる聖霊様、感謝します。私の全ての暮らしが礼拝になることを願います。神様、私といつも共に歩んでください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

**◎ 主の祈りで終える　　～関連聖句～**

· しかし、私は、豊かな恵みによって、あなたの家に行き、あなたを恐れつつ、あなたの聖なる宮に向かってひれ伏します。(詩編5：7)·御名の栄光を、主に帰せよ。聖なる飾り物を着けて主にひれ伏せ。(詩編 29：2)